

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2001-184311 (P2001-184311A)

【公開日】平成 13 年 7 月 6 日 (2001.7.6)

【出願番号】特願 平 11-371412

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 15/00

G 0 6 F 3/12

H 0 4 L 9/08

H 0 4 L 9/32

// B 4 1 J 29/00

B 4 1 J 29/38

【F I】

G 0 6 F 15/00 3 3 0 F

G 0 6 F 15/00 3 3 0 E

G 0 6 F 3/12 A

H 0 4 L 9/00 6 0 1 C

H 0 4 L 9/00 6 7 3 D

H 0 4 L 9/00 6 7 5 A

B 4 1 J 29/00 Z

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 26 日 (2004.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部の情報受信装置に向けて発信する情報発信装置であって、

このユーザを特定する識別情報を入力する入力手段と、

前記入力手段で入力された識別情報から暗号情報を生成する暗号化手段と、

前記暗号情報 及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信手段とを備えることを特徴とする情報発信装置。

【請求項 2】

前記識別情報はユーザの生体情報を含み、前記入力手段は、前記生体情報を入力することを特徴とする請求項 1 に記載の情報発信装置。

【請求項 3】

前記生体情報はユーザの指紋 に関する情報を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の情報発信装置。

【請求項 4】

前記入力手段から読みとった前記識別情報に基づいて周波数スペクトラムを作成する作成手段を更に有し、

前記暗号化手段は前記周波数スペクトラムを用いて暗号化を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の情報発信装置。

【請求項 5】

更に前記暗号化手段は、公開鍵暗号方式で前記周波数スペクトラムを暗号化することを特徴とする請求項 4 に記載の情報発信装置。

【請求項 6】

送信元装置から送信されてきた情報を再生する情報受信装置であって、
暗号情報と共に再生すべき情報を受信する受信手段と、
前記受信手段により受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元手段と、
ユーザを特定する識別情報を入力する入力手段と、
前記識別情報を前記復元情報と同じデータ形式に変換する変換手段と、
識別情報を前記変換手段により変換した情報と復元情報とのマッチングを行うマッチング手段と、
前記マッチング手段によってマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生手段と
を備えることを特徴とする情報受信装置。

【請求項 7】

情報受信装置はプリンタを含むことを特徴とする請求項 6 に記載の情報受信装置。

【請求項 8】

前記識別情報はユーザの生体情報を含み、前記入力手段は、前記生体情報を入力することを特徴とする請求項 6 に記載の情報受信装置。

【請求項 9】

前記変換手段は、前記送信元装置が前記復元情報と同じデータ形式を生成した際に行った処理と同様の処理を行うことを特徴とする請求項 6 に記載の情報受信装置。

【請求項 10】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部に発信する情報発信装置と、この情報発信装置よりの情報を受信して再生する情報受信装置で構成されるシステムであって、
前記情報発信装置は、
このユーザを特定する識別情報を入力する入力手段と、
前記入力手段で入力された識別情報から暗号情報を生成する暗号化手段と、
前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信手段と
を備え、
前記情報受信装置は、
前記送信手段より送信されてきた情報を受信する受信手段と、
前記受信手段により受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元手段と、
ユーザを特定する識別情報を入力する入力手段と、
前記識別情報を前記復元情報と同じデータ形式に変換する変換手段と、
識別情報を前記変換手段により変換した情報と復元情報とのマッチングを行うマッチング手段と、
前記マッチング手段によってマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生手段と
を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 11】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部の情報受信装置に向けて発信する情報発信装置であって、
このユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力手段と、
前記入力手段で入力された周波数スペクトラムから暗号情報を生成する暗号化手段と、
前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信手段と
を備えることを特徴とする情報発信装置。

【請求項 12】

前記入力手段は、前記周波数スペクトラムを格納する記憶媒体を入力することを特徴とする請求項 1 1 に記載の情報発信装置。

【請求項 1 3】

送信元装置から送信されてきた情報を再生する情報受信装置であって、
暗号情報と共に再生すべき情報を受信する受信手段と、
前記受信手段により受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元手段と、
ユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力手段と、
前記周波数スペクトラムと復元情報とのマッチングを行うマッチング手段と、
前記マッチング手段によってマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生手段と
を備えることを特徴とする情報受信装置。

【請求項 1 4】

前記入力手段は、前記周波数スペクトラムを格納する記憶媒体を入力することを特徴とする請求項 1 3 に記載の情報受信装置。

【請求項 1 5】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部に発信する情報発信装置と、この情報発信装置よりの情報を受信して再生する情報受信装置で構成されるシステムであって、
前記情報発信装置は、
このユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力手段と、
前記入力手段で入力された周波数スペクトラムから暗号情報を生成する暗号化手段と、
前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信手段と
を備え、

前記情報受信装置は、
前記送信手段より送信されてきた情報を受信する受信手段と、
前記受信手段により受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元手段と、
ユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力手段と、
前記周波数スペクトラムと復元情報とのマッチングを行うマッチング手段と、
前記マッチング手段によってマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生手段と
を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 1 6】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部の情報受信装置に向けて発信する情報発信装置の制御方法であって、
このユーザを特定する識別情報を入力する入力工程と、
前記入力工程で入力された識別情報から暗号情報を生成する暗号化工程と、
前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信工程と
を備えることを特徴とする情報発信装置の制御方法。

【請求項 1 7】

前記識別情報はユーザの生体情報を含み、前記入力工程では、前記生体情報を入力することを特徴とする請求項 1 6 に記載の情報発信装置の制御方法。

【請求項 1 8】

前記生体情報はユーザの指紋に関する情報を含むことを特徴とする請求項 1 7 に記載の情報発信装置の制御方法。

【請求項 1 9】

前記入力工程で、読みとった前記識別情報に基づいて周波数スペクトラムを作成する作成工程を更に有し、
前記暗号化工程では前記周波数スペクトラムを用いて暗号化を行うことを特徴とする請求項 1 6 に記載の情報発信装置の制御方法。

【請求項 20】

更に前記暗号化工程では、公開鍵暗号方式で前記周波数スペクトラムを暗号化することを特徴とする請求項 19 に記載の情報発信装置の制御方法。

【請求項 21】

送信元装置から送信されてきた情報を再生する情報受信装置の制御方法であって、暗号情報と共に再生すべき情報を受信する受信工程と、前記受信工程で受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元工程と、ユーザを特定する識別情報を入力する入力工程と、前記識別情報を前記復元情報と同じデータ形式に変換する変換工程と、識別情報を前記変換工程で変換した情報と復元情報とのマッチングを行うマッチング工程と、前記マッチング工程でマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生工程とを備えることを特徴とする情報受信装置の制御方法。

【請求項 22】

情報受信装置の制御方法はプリンタの制御方法を含むことを特徴とする請求項 21 に記載の情報受信装置の制御方法。

【請求項 23】

前記識別情報はユーザの生体情報を含み、前記入力工程では、前記生体情報を入力することを特徴とする請求項 21 に記載の情報受信装置の制御方法。

【請求項 24】

前記変換工程では、前記送信元装置が前記復元情報と同じデータ形式を生成した際に行った処理と同様の処理を行うことを特徴とする請求項 21 に記載の情報受信装置の制御方法。

【請求項 25】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部に発信する情報発信装置と、この情報発信装置よりの情報を受信して再生する情報受信装置で構成されるシステムの制御方法であって、前記情報発信装置の制御方法は、このユーザを特定する識別情報を入力する入力工程と、前記入力工程で入力された識別情報から暗号情報を生成する暗号化工程と、前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信工程とを備え、前記情報受信装置の制御方法は、前記送信工程で送信されてきた情報を受信する受信工程と、前記受信工程で受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元工程と、ユーザを特定する識別情報を入力する入力工程と、前記識別情報を前記復元情報と同じデータ形式に変換する変換工程と、識別情報を前記変換工程で変換した情報と復元情報とのマッチングを行うマッチング工程と、前記マッチング工程でマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生工程とを備えることを特徴とするシステムの制御方法。

【請求項 26】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部の情報受信装置に向けて発信する情報発信装置の制御方法であって、このユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力工程と、前記入力工程で入力された周波数スペクトラムから暗号情報を生成する暗号化工程と、前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信工程と

を備えることを特徴とする情報発信装置の制御方法。

【請求項 27】

前記入力工程では、前記周波数スペクトラムを格納する記憶媒体を入力することを特徴とする請求項 26 に記載の情報発信装置の制御方法。

【請求項 28】

送信元装置から送信されてきた情報を再生する情報受信装置の制御方法であって、
暗号情報と共に再生すべき情報を受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元工程と、
ユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力工程と、
前記周波数スペクトラムと復元情報とのマッチングを行うマッチング工程と、
前記マッチング工程でマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生工程と
を備えることを特徴とする情報受信装置の制御方法。

【請求項 29】

前記入力工程では、前記周波数スペクトラムを格納する記憶媒体を入力することを特徴とする請求項 28 に記載の情報受信装置の制御方法。

【請求項 30】

ユーザが作成もしくは編集した情報を外部に発信する情報発信装置と、この情報発信装置よりの情報を受信して再生する情報受信装置で構成されるシステムの制御方法であって、
前記情報発信装置の制御方法は、
このユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力工程と、
前記入力工程で入力された周波数スペクトラムから暗号情報を生成する暗号化工程と、
前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信工程と
を備え、
前記情報受信装置の制御方法は、
前記送信工程で送信されてきた情報を受信する受信工程と、
前記受信工程で受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元工程と、
ユーザを特定する識別情報に基づいた周波数スペクトラムを入力する入力工程と、
前記周波数スペクトラムと復元情報とのマッチングを行うマッチング工程と、
前記マッチング工程でマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生工程と
を備えることを特徴とするシステムの制御方法。

【請求項 31】

コンピュータに請求項 16 乃至 20、請求項 26、27 の何れか 1 項に記載の制御方法を実行させる為のプログラムを格納することを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 32】

コンピュータに請求項 21 乃至 24、請求項 28、29 の何れか 1 項に記載の制御方法を実行させる為のプログラムを格納することを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明の目的を達成するために、例えば本発明の情報発信装置は以下の構成を備える。
すなわち、ユーザが作成もしくは編集した情報を外部の情報受信装置に向けて発信する情

報発信装置であって、

このユーザを特定する識別情報を入力する入力手段と、

前記入力手段で入力された識別情報から暗号情報を生成する暗号化手段と、

前記暗号情報及び前記情報受信装置へ送信すべき情報を、前記情報受信装置に送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の目的を達成するために、例えば本発明の情報受信装置は以下の特徴を備える。
すなわち、送信元装置から送信されてきた情報を再生する情報受信装置であって、

暗号情報と共に再生すべき情報を受信する受信手段と、

前記受信手段により受信した暗号情報を復元し、復元情報を生成する復元手段と、

ユーザを特定する識別情報を入力する入力手段と、

前記識別情報を前記復元情報と同じデータ形式に変換する変換手段と、

識別情報を前記変換手段により変換した情報と復元情報とのマッチングを行うマッチング手段と、

前記マッチング手段によってマッチングがとれた場合に、送信元装置から送信されてきた情報を再生する再生手段と

を備えることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0086

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0086】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、ユーザを特定する識別情報を入力するとともに、入力された識別情報から暗号情報を生成して情報受信装置に送信することで、プリンタ等の情報受信装置側で、より確実にユーザ本人であることを特定することを可能にする情報発信装置等を提供することができる。